

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2018年4月27日（金）12:45～14:00

場 所：シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 5F マーズ（宮崎）

出席者：山田正三（理事長）、笹野公伸（副理事長）、島津章、方波見卓行、屋代隆、戸田修二、吉本勝彦、田辺晶代、岡本高宏、菅間博の各理事、柴田洋孝、井下尚子の両監事、高野幸路次期理事候補

欠席者：加藤良平、近藤哲夫、松野彰の各理事、長村義之顧問

同席者：事務局

議 題：

<審議事項>

1. 役員改選の件：1) 次期理事選挙の結果、2) 次期理事長候補者の選出、3) 次期理事長推薦監事候補者の推薦に向けて、4) 次期理事長推薦理事候補者の推薦に向けて、5) 次期顧問・次期副理事長の推薦に向けて、6) 現役員の退任
2. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件
3. 研究賞（最優秀賞・奨励賞）の選考委員の件
4. 第19回国際比較内分泌学会議における本学会企画シンポジウムの主催・共催の件

<報告事項>

5. 第21回（2017年度）学術総会の報告<決算を除く>
6. 第22回（2018年度）学術総会の概要
7. 第23回（2019年度）学術総会の準備状況
8. 学会HPへのバナー広告掲載状況
9. 海外との連携報告：第2回分子病理学シンポジウム
10. コンサルテーションの状況
11. 第92回（2019年度）JES学術総会プログラム委員会の結果
12. 会員の状況について
13. 新会員獲得、学会周知に向けた方策について：役員アンケート
14. 次回理事会の開催予定について：第22回学術総会（徳島）開催前日：2018年9月20日（木）の夕方

冒頭、山田理事長より、理事現在数の3分の2（9名）以上の出席により本理事会は成立する旨の宣言があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

1. 役員改選の件 [審議事項]

1) 次期理事選挙の結果

学会会則第12条に則って理事選挙を実施した。

① 実施内容：

実施日：2018年1月12日～2月2日（消印有効）

有権者数（評議員）：34名、投票総数：27通、有効投票数：27通（有効投票率：79%）
無効投票数：0票

② 開票：

日時：2018年2月16日（金） 14：00 ～ 14：15

場所：事務局、開票人：岩木・中江・荻野、立会人：島津章理事（山田理事長代理）

③ 結果：

次期理事候補6名を選出すると共に全員より就任受諾の回答を得た（任期1期2年：2018年総会日～2020年総会日）。なお、半数改選の対象となる6位当選者を除く5名は、理事会推薦、評議員会・総会承認を経て更に1期再任される）

1（当選）	笹野公伸
2（当選）	菅間博
3（当選）	方波見卓行
4（当選）	松野彰
5（当選）	岡本高宏
6（当選）	高野幸路

[注]：同得票数の場合、（1）会員歴、（2）評議員歴、（3）年長者の順に考慮して順位を決定

2) 次期理事長候補者の選出

学会会則第12条3により、欠席の松野理事を除く次期選挙選任理事候補の出席者5名並びに2期目再任予定理事3名（欠席の近藤理事を除く田辺晶代、戸田修二、吉本勝彦の各理事）の計8名による審議の結果、立候補の意思を表明された笹野公伸副理事長が満場一致で選出された（任期1期2年：2018年総会日～2020年総会日）。笹野次期理事長候補者は、山田理事長の運営方針を踏襲すると共に財政基盤の強化、会員の増加と本学会の更なる発展に取り組むとの抱負を語られた。

3) 次期理事長推薦監事候補者の推薦に向けて

笹野次期理事長候補者は、学会会則第12条4により、秋理事会までに、次期監事候補者1名を推薦する（任期4年：2018年総会日～2022年総会日）。なお、井下監事は任期中である（任期：～2020年総会日）。

4) 次期理事長推薦理事候補者の推薦に向けて

笹野次期理事長候補者は、学会会則第12条2により、秋理事会までに、次期理事候補者を推薦する（3名以内、任期1期2年：2018年総会日～2020年総会日）。

5) 次期顧問・次期副理事長の推薦に向けて

笹野次期理事長候補者は、学会会則第13条6及び7により、必要に応じて秋理事会までに、次期顧問及び次期副理事長を任命する。

6) 現役員の退任

学会会則第15条6により、山田正三理事長、加藤良平、島津章、屋代隆の各理事は2018年総会日をもって退任する。

なお、笹野次期理事長候補者は、学会会則第13条3及び4により、秋理事会までに、

庶務・財務・広報・企画学術・渉外の各会務に次期理事候補者を割り当てると共に各会務を代表する筆頭理事候補者を選抜する。以上の作業を経て、秋の評議員会・総会において次期役員体制の承認を得る。

2. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件 [審議事項]

山田理事長（学会賞選考委員長）より、応募のあった佐野賞及び亀谷賞各1件について選考委員会での審議結果が報告され、理事会において両候補者の受賞が満場一致にて承認された。なお、今年度も特別功労賞の推薦はなかった。

- ✓ 応募締切：2018年2月末日
- ✓ 選考委員会（書面による持ち回り審議）：2017年3月12日～3月23日
- ✓ 選考委員：委員長＝理事長、委員（7名）＝副理事長、五筆頭理事、当該年度会長（各賞応募者の推薦者は選考に参加せず）

（1）佐野賞応募者

井野元 智恵（イノト チェ 東海大学医学部 基盤診療学系 病理診断学）

テーマ：下垂体腫瘍に関する病理組織学的研究

（2）亀谷賞応募者

小嶋 基寛（コジマ モトヒロ 国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター臨床腫瘍病理分野）

テーマ：内分泌病理診断の均てん化、直腸内分泌腫瘍の病理診断

例年、受賞者には「今後の学会への貢献を期待する」との文言を添えて受賞通知を発行してきたが、今年度から、5年間の学会活動報告を求めることになった（学術総会での発表、学会関連事業への参画、後進の入会勧誘や発表指導、等の具体的な取組みを毎年理事長に報告）。

3. 研究賞の選考委員の件 [審議事項]

吉本理事（第22回学術総会会長、研究賞選考委員長）より、今年度選考委員として、方波見卓行、近藤哲生、松野彰の3理事を推薦したいとの提案があり、満場一致で承認された。

4. 第19回国際比較内分泌学会議における本学会企画シンポジウムの主催・共催の件 [審議事項]

山田理事長より、第19回国際比較内分泌学会議（2021年6月開催）において、本学会企画シンポジウムを主催することが提案され、満場一致で承認された。屋代理事より、趣意書にある「連携」とは、国際会議側からは共催を意味し、日本向けには主催を意味すること、詳細は今後詰めていくこと、等の説明があった。

5. 第21回（2017年度）学術総会の報告〈決算を除く〉 [報告事項]

田辺理事（第21回会長）より、昨年度学術総会の概要が報告され、多くの参加者を得て盛況裏に終了したことが述べられた。

- ✓ 会期・会場：2017年10月27日（金）～28日（土）、東京コンベンションホール
- ✓ テーマ：病理学と内分泌学～融合と飛躍
- ✓ 日程：2017年10月26日：16時より理事会、理事会後に会長招宴
2017年10月27日：特別講演（クリニカルアワー・アップデートセッション）、
一般演題、学術賞受賞講演、ランチョンセミナー、YIPAセッション、評議員
会・総会、表彰式、会員懇親会
2017年10月28日：特別講演、一般演題、ランチョンセミナー
- ✓ クリニカルアワー11題、アップデートセッション4題、ランチョンセミナー2題、
一般演題31題、ポスター演題7題
- ✓ 参加者：165名（一般、研修医、学生、海外招聘）

6. 第22回（2018年度）学術総会の概要 [報告事項]

吉本理事（第22回会長）より、特別講演、シンポジウム（金曜日は下垂体・甲状腺、土曜日は家族性内分泌腫瘍・副甲状腺骨代謝・副腎皮質）、学術賞受賞講演、一般演題（口演・ポスター）を含めたプログラムを構成中であることが述べられた。

- ✓ 会期・会場：2018年9月21日（金）～22日（土）、徳島大学蔵本キャンパス大塚講堂小ホール
- ✓ テーマ：本学会発祥の地で病態を探る
- ✓ 演題募集：2018年5月21日（月）～6月29日（金）（様式はHPに掲載）

7. 第23回（2019年度）学術総会の準備状況 [報告事項]

菅間理事（第23回会長）より、2019年10月4日（金）～5日（土）に三鷹産業プラザで開催すること、ワークショップ4題、ランチョンセミナー2題を含むプログラムを計画中である旨の報告があった。三鷹市長の協力を得て会場を公共施設に設営できたことから、市民公開講座の開催を依頼された場合には役員の協力をお願いしたいとのコメントがあった。

8. 学会HPへのバナー広告掲載状況 [報告事項]

屋代理事（広報担当）より、HPへのバナー広告案内の趣意書を6社に発行し、現在、帝人ファーマ、ノボ・ノルディスクファーマの2社が掲載済であることが報告された。

9. 海外との連携報告 [報告事項]

笹野副理事長より、第2回分子病理学シンポジウムについて、今年2月にオーストラリアで内分泌専門医の卒後教育が開催されたことが報告された。

10. コンサルテーションの状況について [報告事項]

山田理事長より、2017年度は4件の依頼があったことが報告された。なお、本制度の周知に向けて、学会HPへバナー設定（当学会のコンサルテーションページへリンク付したもの）していただける具体的な候補学会を理事会メンバーが提案することが申し

合わされた。また、本体の日本内分泌学会にもバナー申請を行い、Update 時の HP 全面改訂に合わせて柴田監事に対応いただくことが決まった。これらは、コンサルテーション委員長の近藤理事に主導いただく。

11. 第 92 回（2019 年度）JES 学術総会 P 委員会の結果：内分泌病理領域の演題について [報告事項]

田辺理事（本学会代表プログラム委員）より、本学会の提案による主なプログラムの採用状況が報告された。演者、座長については調整中である。

- ✓ シンポジウム：悪性腫瘍と内分泌代謝障害（免疫チェックポイント阻害剤の光と影）、プロラクチン産生腺腫の治療方針、サブクリニカルクッシング症候群：最近の動向、原発性アルドステロン症の病態多様性：片側性病変と両側性病変の臨床
- ✓ 教育講演：褐色細胞腫・パラグングリオーマ診療ガイドライン 2018
- ✓ クリニカルアワー：甲状腺濾胞癌 update、外科治療を勧めたい甲状腺結節、原発性アルドステロン症における副腎静脈サンプリングの課題と対策、副腎がんの診断と治療、原発性アルドステロン症（手術 vs 薬物治療）、悪性褐色細胞腫 Up to date

12. 会員の状況について [報告事項]

山田理事長より、本学会会員数について、2013 年度をピークにその後は微減のトレンドにあること、評議員数が先細り傾向にあることが報告された。対策として、内分泌外科、内科を主要ターゲットに各理事会メンバーが評議員候補を挙げることに決まった。

13. 新会員獲得、学会周知に向けた方策について：役員アンケート [報告事項]

方波見ならびに田辺の両理事より提案された新会員獲得、学会周知に向けた方策が協議された。その結果、① 評議員に就任していただけた先生を勧誘して、その傘下の若手の入会を促していくこと（議題 12 でも討議）、② 基礎・臨床の組み合わせによる学術総会会長・副会長を設けて知名度を上げて幅広く会員を獲得していくこと、③ 日本内分泌学会 HP にコンサルテーション制度のバナー常在を「日本内分泌学会 HP 小委員会」に申請することで本学会の認知を拡げていくこと（議題 10 でも討議）、が申し合わされた。この点については内分泌学会の広報委員長の柴田先生にご協力をお願いし、快諾が得られた。

14. 次回理事会の開催予定について

山田理事長より、第 22 回学術総会（徳島）の開催前日（2018 年 9 月 20 日）の 16 時から秋理事会を開催する旨の予告があった。

以上

（作成：事務局、理事長/副理事長/筆頭理事/会長：校閲済）